



ツーバイフォーの特性

## 自由設計

ツーバイフォー住宅の大きな魅力は「自由 設計」です。

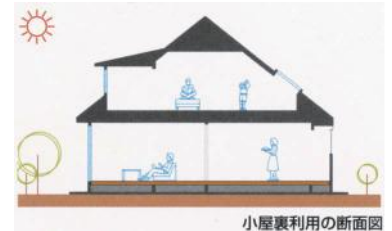
### ツーバイフォー住宅の自由設計

ツーバイフォー住宅は、設計面でも優れた特性をもっています。面構造で、しかも強固なモノコック構造なので、設計の自由度がきわめて高いことです。たとえば柱のないスッキリした設計で、広々とした大空間のある建物をつくることもできます。

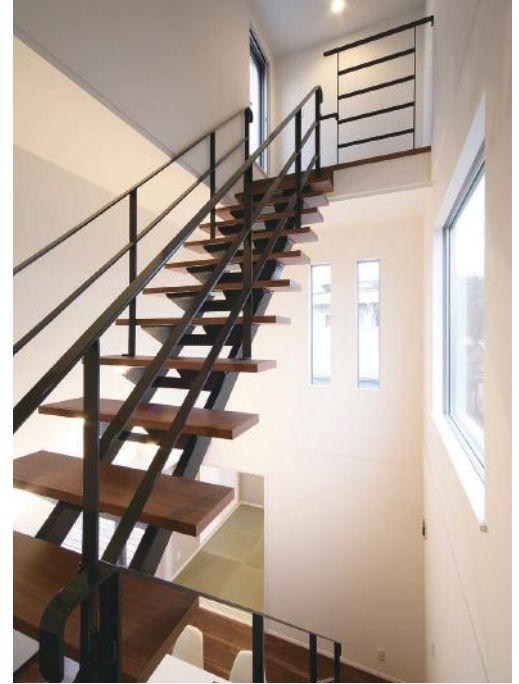
この「自由設計」により、ツーバイフォー工法は一般的な住宅だけでなく、ホテル、各種施設…といった多様な建物形態の建築が可能です。

### 小屋裏(屋根裏)にもスペースができる。

ツーバイフォー工法なら、屋根を支えるための複雑な小屋組みは必要ありません。このため小屋裏(屋根裏)を収納スペースとして活用したり、屋根の勾配を利用して採光用にトップライトなどを設け、居室として利用することもできます。



小屋裏利用の断面図



### 自由のための設計ルール

設計の自由度が高いツーバイフォー住宅ですが、だからこそ守るべき設計上のルールがあります。たとえば建物の重さを支える「耐力壁」は1階と2階でできる限り重なるようにすること、窓などの「開口部」は一定のルールにもとづいて設定することなどです。

多くは耐力壁に関するもので、ツーバイフォー住宅の優れた構造特性を損なわないように規定されたものです。

### 住まいのデザインが自由になる

住まいの第一印象を決めるのは外観です。とくに屋根の形状は大きな要素となります。ツーバイフォー住宅は屋根を支える小屋組みが非常にシンプルのため、じつにさまざまなカタチの屋根をつくれます。多彩な外壁と相まって、より個性的で表情豊かな外観デザインができます。また家族の成長やライフスタイルの変化に合わせて、将来の増改築にもフレキシブルに対応できます。自由な発想で、住む人のイメージどおりのデザインで住まいづくりができる。こうした設計の柔軟性は、ツーバイフォー住宅の大きな魅力といえます。



「自由設計」のツーバイフォー住宅は、  
個性的なデザイン、広々とした大空間づくりが得意です。

